



平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月2日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
問合せ先責任者(役職名) 管理本部 副本部長 (氏名) 佐藤 郁尚 (TEL) 03-5371-7197
四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日 配当支払開始予定日 平成26年1月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
26年4月期第2四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	238,984	10.4	14,461	5.6	14,118	5.6	8,325	10.3

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 8,676百万円(-13.6%) 25年4月期第2四半期 7,637百万円(-15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年4月期第2四半期	円 銭	円 銭
25年4月期第2四半期	66.44	66.25

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下(参考)をご覧下さい。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年4月期第2四半期	百万円	百万円	%
25年4月期	256,022	120,240	46.7

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 119,497百万円 25年4月期 113,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年4月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	19.00	—	19.00	38.00
26年4月期(予想)		19.00		19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下(参考)をご覧下さい。

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下(参考)をご覧下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年4月期2Q	89,212,380株	25年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	26年4月期2Q	634,669株	25年4月期	635,899株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年4月期2Q	88,576,745株	25年4月期2Q	89,067,583株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧下さい。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 錢	円 錢
26年4月期第2四半期	71.44	71.25
25年4月期第2四半期	64.88	64.71

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
25年4月期	円 錢 —	円 錢 24.00	円 錢 —	円 錢 24.00	円 錢 48.00
26年4月期	—	24.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益 (連結)	1株当たり当期純利益 (個別)
第1種優先株式	円銭	円銭
通期	107.23	97.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期2Q	34,246,962株	25年4月期	34,246,962株
②期末自己株式数	26年4月期2Q	87,098株	25年4月期	81,568株
③期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期2Q	34,162,171株	25年4月期2Q	34,172,628株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年5月1日から平成25年10月31日まで）におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策への期待とその効果から、輸出企業の実績改善、個人消費の持ち直し、雇用情勢の改善等の景気回復の兆しが見え始めております。その一方で、欧州政府の債務問題や新興国経済の鈍化に対する不安が、引き続きわが国の景気を押し下げるリスクとなっております。

飲料業界におきましては、新商品の積極的な導入もあり、市場全体での販売数量は引き続き増加しております。しかしながら、円安に伴う原材料・燃料コストの上昇懸念が残るなか、依然として消費者の節約志向、競争激化による低価格化、局地的豪雨や、相次ぐ台風の上陸などの天候要因により、厳しい状況が続いており、予断を許さない経営環境となっております。

このような状況のなか、当グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、中期経営計画（平成26年4月期にて売上高4,000億円以上、営業利益230億円）という目標達成に向け、当グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っていらっしゃるか」を常に考え、グループ一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,389億84百万円（前年同期比10.4%増）となり、利益面におきましては、各経費の見直しを行うとともに効率的な経営を行い、営業利益144億61百万円（前年同期比5.6%増）、経常利益141億18百万円（前年同期比5.6%増）、四半期純利益83億25百万円（前年同期比10.3%増）となりました。セグメント別の業績を示すと次のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

国内においては、主力製品であります「お~いお茶 緑茶」と「お~いお茶 濃い味」につきましては、「おいしいお茶は、いい畑から。」というメッセージを掲げ、伊藤園だからできる“畑、原料茶葉、製法のこだわり”を総結集し、“おいしさの集大成”2013年品質として、平成25年5月にリニューアルいたしました。更に茶産地育成事業による契約茶園で丹念に育て上げた一番茶を100%使用している「お~いお茶 ぞっこん」をリニューアルし、また簡単・手軽にお楽しみいただける「ティーバッグ製品」のラインアップの拡充と、リーフ製品「お~いお茶」シリーズを強化することで、日本茶市場全体の活性化、「お~いお茶」ブランドの更なる価値向上と販売強化を図ってまいりました。また、平成25年6月発売の健康茶飲料である「ヘルシー ルイボスティー」や、野菜飲料の「1日分の野菜」においても順調に売上を伸ばしており、そのほか、コーヒー飲料におきましては「TULLY'S COFFEE」ブランドシリーズが引き続きご好評をいただき、販売金額を伸ばすなど、業績の向上に寄与しております。

チチャス㈱においては、全国展開をしております「乳酸菌ソーダ」が、発売時より好調に推移しており、「朝のYoo」同様、チチャスブランドとのシナジー効果を拡大しております。また、ネオス㈱は、西日本に強い販売チャネルを持っており、グループの自販機事業に関して、更なる強化が期待できます。

海外においては、ITO EN(North America)INC.の主力製品である「TEAS' TEA」が、順調に売上を伸ばしているほか、無糖茶飲料が好調に推移しております。さらに中国事業及び東南アジア事業の基盤確立へ向け、今日の健康志向の追い風と共に、積極的な海外展開を行ってまいりました。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は2,250億58百万円（前年同期比10.1%増）となり、営業利益は126億53百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン㈱は、引き続き好調に推移し、店舗数も536店と更なる拡充を続け、売上高は113億60百万円（前年同期比13.9%増）となり、営業利益は16億86百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

<その他>

売上高は25億66百万円（前年同期比27.0%増）となり、営業利益は6億26百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

【資産】

資産は前連結会計年度末と比較して110億52百万円増加し、2,560億22百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「現金及び預金」が10億83百万円、「受取手形及び売掛金」が47億66百万円、「建物及び構築物」が9億87百万円、「リース資産（有形）」が10億73百万円増加したことによるものです。

【負債】

負債は前連結会計年度末と比較して47億54百万円増加し、1,357億82百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が17億52百万円増加したことによるものです。

【純資産】

純資産は前連結会計年度末と比較して62億98百万円増加し、1,202億40百万円となりました。主な変動要因といたしましては、四半期純利益83億25百万円による増加と、配当金の支払25億2百万円による減少によるものです。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、124億67百万円の収入（前年同期は115億83百万円の収入）となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益141億79百万円、減価償却費74億85百万円、仕入債務の増加15億54百万円であるのに対し、減少要因として売上債権の増加46億53百万円、法人税等の支払額43億88百万円があったことによるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、21億93百万円の支出（前年同期は47億92百万円の支出）となりました。これは主に、設備投資による支出23億85百万円があったことによるものです。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、89億26百万円の支出（前年同期は84億73百万円の支出）となりました。これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出62億71百万円、配当金の支払24億98百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して13億18百万円増加し、442億16百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、今回見直しをせず据え置いております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社以外の子会社の異動)

インドネシアにおいて販売合弁会社のPT ITO EN ULTRAJAYA WHOLESALEを設立し、当第2四半期連結会計期間より、連結子会社として連結の範囲に含めております。

また、㈱土倉の株式を追加取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より、連結子会社として連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	44,856	45,940
受取手形及び売掛金	40,750	45,516
商品及び製品	21,771	21,683
原材料及び貯蔵品	7,156	8,053
その他	14,655	17,089
貸倒引当金	△164	△169
流动資産合計	129,025	138,113
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,297	18,285
土地	17,978	18,381
リース資産（純額）	33,561	34,634
その他（純額）	7,047	7,079
有形固定資産合計	75,885	78,381
無形固定資産		
のれん	17,258	16,609
その他	7,545	7,062
無形固定資産合計	24,803	23,672
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	15,256	15,855
固定資産合計	115,945	117,908
資産合計	244,970	256,022
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	29,474	31,227
短期借入金	508	5,531
リース債務	11,778	11,699
未払費用	18,023	18,297
未払法人税等	4,521	5,844
賞与引当金	3,047	3,358
その他	3,526	3,401
流动負債合計	70,880	79,361
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	6,602	1,937
リース債務	22,214	22,655
退職給付引当金	7,885	8,221
その他	3,444	3,606
固定負債合計	60,147	56,420
負債合計	131,028	135,782

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	20,259
利益剰余金	80,747	86,569
自己株式	△1,467	△1,474
株主資本合計	119,451	125,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	925	1,102
繰延ヘッジ損益	30	0
土地再評価差額金	△6,171	△6,171
為替換算調整勘定	△745	△701
その他の包括利益累計額合計	△5,960	△5,769
新株予約権	34	49
少数株主持分	416	693
純資産合計	113,942	120,240
負債純資産合計	244,970	256,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
売上高	216,468	238,984
売上原価	114,927	125,040
売上総利益	101,541	113,944
販売費及び一般管理費	87,850	99,483
営業利益	13,690	14,461
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	30	50
為替差益	—	17
持分法による投資利益	135	71
その他	215	216
営業外収益合計	394	369
営業外費用		
支払利息	598	629
為替差損	54	—
その他	58	83
営業外費用合計	712	713
経常利益	13,373	14,118
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	2
段階取得に係る差益	260	—
負ののれん発生益	—	198
その他	2	0
特別利益合計	264	203
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産廃棄損	16	11
災害による損失	12	0
投資有価証券評価損	165	10
減損損失	48	44
段階取得に係る差損	—	73
特別損失合計	244	141
税金等調整前四半期純利益	13,393	14,179
法人税等	5,852	5,696
少数株主損益調整前四半期純利益	7,540	8,483
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	157
四半期純利益	7,550	8,325

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,540	8,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	176	162
繰延ヘッジ損益	△4	△30
為替換算調整勘定	△70	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	26
その他他の包括利益合計	96	193
四半期包括利益	7,637	8,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,647	8,516
少数株主に係る四半期包括利益	△9	159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,393	14,179
減価償却費	6,241	7,485
減損損失	48	44
段階取得に係る差損益（△は益）	△260	73
のれん償却額	539	656
負ののれん発生益	—	△198
賞与引当金の増減額（△は減少）	208	307
退職給付引当金の増減額（△は減少）	345	322
受取利息及び受取配当金	△43	△63
支払利息	598	629
為替差損益（△は益）	△6	5
投資有価証券評価損益（△は益）	165	10
売上債権の増減額（△は増加）	△6,445	△4,653
たな卸資産の増減額（△は増加）	36	△689
その他の流動資産の増減額（△は増加）	483	△2,480
仕入債務の増減額（△は減少）	1,705	1,554
未払消費税等の増減額（△は減少）	674	△13
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△765	368
その他	△155	△130
小計	16,766	17,407
利息及び配当金の受取額	47	76
利息の支払額	△598	△628
法人税等の支払額	△4,631	△4,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,583	12,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△790	250
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,972	△2,385
関係会社株式の取得による支出	—	△121
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△934	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	168
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△95	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,792	△2,193
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△300	—
長期借入れによる収入	800	—
長期借入金の返済による支出	△185	△254
自己株式の取得による支出	△1,088	△11
自己株式の処分による収入	0	1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△5,193	△6,271
配当金の支払額	△2,509	△2,498
少数株主への配当金の支払額	△5	△0
少数株主からの払込みによる収入	12	121
その他の支出	△6	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,473	△8,926
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△28
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,675	1,318
現金及び現金同等物の期首残高	43,544	42,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,869	44,216

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	204,472	9,975	2,020	216,468	-	216,468
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	112	264	1,251	1,628	△1,628	-
計	204,585	10,239	3,272	218,097	△1,628	216,468
セグメント利益 又は損失 (△)	12,382	1,283	523	14,189	△499	13,690

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、のれんの償却額△519百万円、セグメント間取引20百万円
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	225,058	11,360	2,566	238,984	-	238,984
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	130	339	1,285	1,755	△1,755	-
計	225,189	11,700	3,851	240,740	△1,755	238,984
セグメント利益 又は損失 (△)	12,653	1,686	626	14,966	△504	14,461

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、のれんの償却額△525百万円、セグメント間取引21百万円
であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日）

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日）

「リーフ・ドリンク関連事業」のセグメントにおいて、㈱土倉の株式を追加取得し連結子会社としたことに伴い、当第2四半期連結累計期間において、負ののれん発生益を198百万円計上しております。